

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

経済・社会を支えるインフラを担う基幹産業として、顧客の競争力強化、情報社会の更なる発展に貢献する

ROE
14%以上

連結営業利益率
10.5%

従業員一人当たり売上
25百万円

売上高構成比
6:3:1比率

② 中長期の経営戦略

1. 事業の成長

デジタルビジネス・SIビジネス・エンハンスビジネスを軸に、受託ビジネス（Sler向け・プライム向け）と企画ビジネス（サービス提供事業）で価値を提供

3. 人的資本の充実

量的充実（採用チャネル多様化）、質的充実（育成・制度向上）、意欲向上（ウェルビーイング経営）の3柱で人材確保と育成推進

2. 事業基盤の強化

品質強化、生産体制拡充、協業推進、研究投資を重点に、ワンストップサービス実現とAI・IoT等の先進技術活用を加速

4. 内部統制・ガバナンス強化

事業戦略・人事戦略・コンプライアンス・セキュリティ重視。BCP改善で持続可能な運営確保

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 原材料価格上昇と諸資源供給制約の継続に対応
- ・ 金融資本市場の変動リスクと景気不透明性への機動的対応
- ・ DX需要とAI技術活用への積極的対応

② 事業基盤強化の加速

- ・ 不採算案件防止と品質管理体制の強化
- ・ 国内拠点（北海道・名古屋・大阪・福岡）と海外拠点（ベトナム）の生産体制構築
- ・ 主要Slerとの協業テーマ具体化とワンストップサービス確立

③ 財務・非財務指標の達成

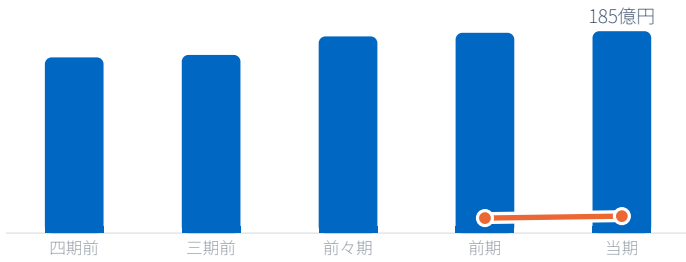
- ・ ROE14%以上、連結営業利益率10.5%への収益性向上
- ・ 従業員一人当たり売上高25百万円達成と業務効率化
- ・ 時間外勤務月平均25時間、エンゲージメント指標71以上の達成

面接で使えるポイント

- ・ VISION 2026の中で、3つのビジネス（デジタル・SI・エンハンス）を軸に2026年度売上構成比6:3:1を目指す…
- ・ 人的資本サービス『H・CUBiC』開発による新規収益モデル構築で、人的資本経営トータル支援を実現
- ・ 顧客第一主義・重点主義・総員営業主義の3つの基本方針で、全社員がステークホルダーとの信頼構築に邁進

証券コード 2335

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
185億円営業利益率
8.4%財務健康度
75点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 42.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
546万円

情報・通信業内 493位/592社

平均年齢
34.0歳

情報・通信業内 513位/593社

平均勤続
8.7年

情報・通信業内 186位/593社

女性管理職
10.8%

情報・通信業内 245位/373社

男性育休
93.4%

情報・通信業内 117位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

